

第7章 合理的配慮が生み出す福祉教育・ボランティア学習

引用・参考文献

飯野由里子・星加良司・西倉実季 (2022) 「社会」を扱う新たなモード—「障害の社会モデル」の使い方—, 生活書院

井口啓太郎・針山和佳菜 (2019) 公民館の実践が生み出す葛藤と対話, 日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要, Vol. 33, p. 53-64

市川真奈美 (2019) 学校における合理的配慮が生み出す葛藤と対話, 日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要, Vol. 33, p. 77-85

川島聡・飯野由里子・西倉実季・星加良司 (2016) 合理的配慮—対話を開く 対話が拓く—, 有斐閣

倉石一郎 (2012) 包摂／排除論からよみとく日本のマイノリティ教育, 稲垣恭子 編, 教育における包摂と排除—もうひとつの若者論—, 明石書店

小林洋司・浦東聖野 (2019) 合理的配慮をめぐる対話を阻むもの—自己開示を可能にする条件の検討—, 日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要, Vol. 33, p. 39-52

津田英二 (2012) 物語としての発達／文化を介した教育—発達障がいのある社会モデルのための教育学序説—, 生活書院

津田英二 (2019) 合理的配慮が福祉教育・ボランティア学習に提起するもの, 日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要, Vol. 33, p. 86-94

堤英俊 (2019) 合理的配慮と発達支援のあいだ, 日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要, Vol. 33, p. 18-24

奈良里紗・渡邊一真 (2019) 「当事者」視点からみた合理的配慮と学び, 日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要, Vol. 33, p. 25-38

西村愛 (2014) 社会は障害のある人たちに何を期待しているか—生涯学習実践から知的能力をめぐる問題を考える—, あいり出版

西村愛 (2019) 合理的配慮がめざす価値とは何か, 日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要, Vol. 33, p. 6-17

野澤和弘 (2020) スローコミュニケーション—わかりやすい文章 わかちあう文化—, 一般社団法人 スローコミュニケーション

畑清美・渋谷篤男 (2019) 社会福祉協議会の実践が生み出す葛藤と対話, 日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要, Vol. 33, p. 65-76

久野研二編 (2018) 社会の障害をみつけよう—一人ひとりが主役の障害平等研
修—, 現代書館

松岡廣路 (2006) 福祉教育・ボランティア学習の新機軸—当事者性・エンパワ
メント—, 日本福祉教育・ボランティア学習学会年報, Vol. 11, p. 12-33

三井さよ (2011) 「知的障害」を関係で捉えかえす—痛みやしんどさの押しつけ
を回避するために—, 現代思想, 第 39 巻第 11 号, 青土社, p. 227-237

三井さよ (2023) 知的障害・自閉の人たちと「かかわり」の社会学—多摩とた
この木クラブを研究する—, 生活書院

麦倉泰子 (2019) 施設とは何か—ライフストーリーから読み解く障害とケア—,
生活書院

横田弘 (2015) 障害者殺しの思想, 現代書館